経営戦略 Strategic Management

第3回 (Session Two – 1st half) (外部環境-研究)SCPの発展

> 慶応義塾大学SFC 総合政策学部准教授 琴坂将広

経営戦略の全体像を、研究と実務の両面から概観します

本授業の構成

- 1-1 (導入-授業紹介)社会科学としての経営戦略と、実学としての経営戦略
- 1-2 (導入-歴史的経緯)経営戦略の歴史的発展
- 2-1 (外部環境-研究)SCPの発展
- 2-2 (外部環境-実務)外部環境を検討する
- 3-1 (内部環境-研究)RBVの系譜
- 3-2 (内部環境-実務)内部環境を検討する
- 4-1 (事業戦略-研究) SCP vs RBV
- 4-2 (事業戦略-実務)事業戦略を検討する
- 5-1 (全社戦略-研究)取引コストとリアルオプション
- 5-2 (全社戦略-実務)全社戦略を検討する
- 6-1 (戦略実行-研究)ゲーム理論とエージェンシー理論
- 6-2 (戦略実行-実務)リーダーシップの役割
- 7-1 (総括-研究)経営戦略研究の広がり
- 7-2 (総括-実務)経営戦略の未来

4/18/18

(外部環境-研究)SCPの発展

本日の内容 – Agenda for this session

- 1 復習:経営学の二面性と経営戦略の歴史的発展
- 2 SCP Structure-Conduct-Performance
- 3 まとめ summery and the key takeaway

4/18/18

意図されない経営戦略と、実現されない経営戦略の存在

Whatとしての経営戦略(2/3):意図されたか、実現されたか

意図されたプランとしての経営戦略

- 計画的に策定される
- 意図された戦略/計画的戦略
- 将来の行動の指針、計画
- ・ 未来を見て、行動を立案する
- 意思があり、不確実性を伴う

意図されなかった行動の集合体

- 創発的に形成される
- 意図されなかった戦略/創発的戦略
- 一定の意思を共有する行動の集合
- 学習の過程で一貫性が醸成される

実現されない/観測されない経営戦略

実現されたパターンとしての経営戦略

- ・ 実現された戦略
- 過去の行動の分析、解釈
- ・ 実際に行われた行動
- 過去を見て、学びを体系化する
- 事実があり、結果が見える

Source: Mintzberg, H. & McHugh, A. 1985. Strategy Formation in an Adhocracy. Administrative Science Quarterly, 30(2): 160-97.より加筆修正

4/18/18

経営戦略は、意図され実現した経営戦略のみを対象とする時代から、意図されず創発された経営戦略、実現しなかった戦略を対象に広げつつある

Howとしての経営戦略(2/3): 策略-プロイ(Ploy)の存在

ポジションとしての経営戦略

- 外部環境を「見下ろしながら」、自社の位置付けを探る
- 自社を、市場で独自性のある価値の高いポジションに配置する
- e.g., 競合のいない低価格品市場に製品を投入する

パースペクティブとしての経営戦略

- 自社の基本的理念を「見上げながら」、それを市場に問う
- 組織の目標、戦略家の思考や趣向に目を向け、その実現を目指す
- e.g., この低価格商品なら、最貧層の生活を劇的に変えるはずだ

策略-プロイ(Ploy) としての経営戦略

- 裏をかく戦略
- 誘う為の戦略
- 非市場要因
- 利点のないよう に見える打ち手 をあえてとる

資料:ヘンリー ミンツバーグ, 1999, 戦略サファリ -戦略マネジメント・ガイドブック.東洋経済新報社より加筆、修正

4/18/18

4

「戦略形成の過程」を「領域」として探求する研究者も無数に存在する

経営戦略を探求する学派の広がり

規範的性質 当為論的 議論が中心

- デザイン・スクール―コンセプト構想プロセスとしての戦略形成
- ・ プランニング・スクール―形式的策定プロセスとしての戦略形成
- ポジショニング・スクール―分析プロセスとしての戦略形成
- ・ アントレプレナー・スクール―ビジョン創造プロセスとしての戦略形成

記述的性質

コグニティブ・スクール―認知プロセスとしての戦略形成ラーニング・スクール―創発的学習プロセスとしての戦略形成

≣**△** ሐ/₁

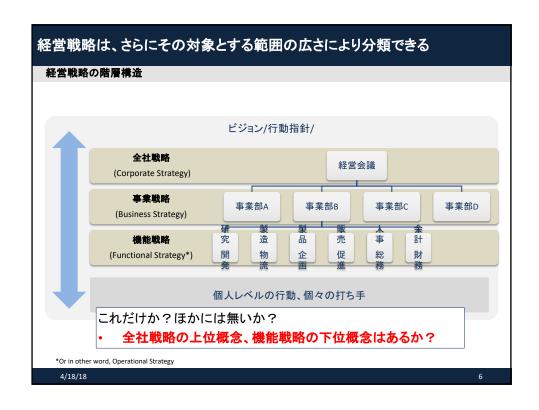
・ パワー・スクール―交渉プロセスとしての戦略形成

存在論的 議論が中心

- カルチャー・スクール―集合的プロセスとしての戦略形成
- エンバイロメント・スクール―環境への反応プロセスとしての戦略形成
- ・ コンフィギュレーション・スクール―変革プロセスとしての戦略形成

Source:ヘンリー ミンツバーグ, 2012, 戦略サファリ 第2版 -戦略マネジメント・コンプリート・ガイドブック.東洋経済新報社

4/18/18



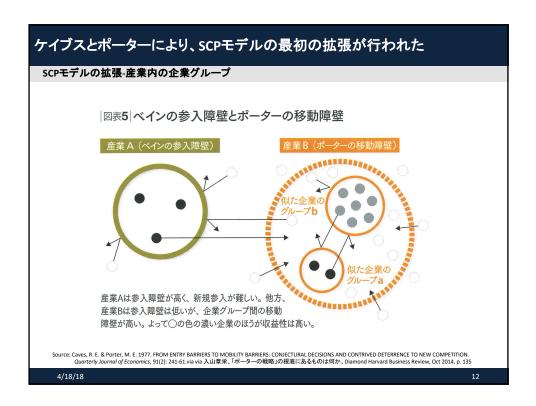


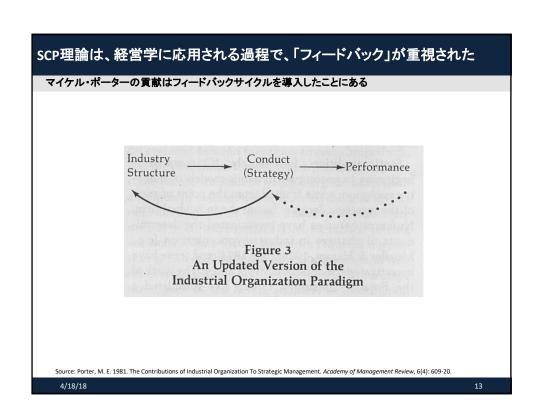
時代とともに、経営戦略が扱うべき事案も変化してきた 経営戦略における中心的テーマの発展 本日カバーする部分 利益重視と競 技術進化と 企業経営の 企業経営の 成長停滞と 新しい成長モ 大規模化 多角化 産業内競争 争優位の追求 デルの登場 世界統合 1950-1960-1970-1980-1990-2000-ポジショニン 競争優位の 財務予算 戦略計画 新産業での 21世紀の グ戦略 追求 成長モデル 事業モデル •DCF法に基づ • 産業分析 •資源と能力 •経済予測 •戦略的革新 •CSRと事業 く資本政策 の分析 のプロセス 倫理 ・市場セグメ •全社計画 •株主価値最 ント分析 •規格競争/ •年次予算を通 ・アントレプレ •中期計画 じた財務管理 大化 ナーシップ プラット •経験曲線 ・多角化とシ フォーム •企業再編 ・新しい事業 •PIMS*分析 ナジー効果 モデル ・新しい組織 の追求 •合従連衡 ・事業ポート 形態 •破壊的イノ •戦略企画室 フォリオ •世界的な価 の設立 •新興国 値連鎖 *Profit Impact of Market Strategy Source: ロバート・M・グラント、グラント現代戦略分析、中央経済社、2008、pp. 19-22を参考に筆者作成 4/18/18

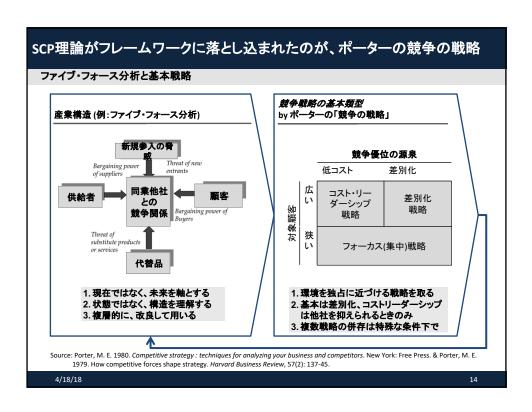
産業ごとに企業パフォーマンスには傾向がある 産業構造と企業パフォーマンスの関係 米国主要産業のROIC Average ROIC, 1992-2006 Security Brokers and Dealers Soft Drinks Prepackaged Software • 個々の企業の競争力にかかわらず、産業ご とに企業パフォーマンスには一定の傾向が Distilled Spirits Semiconductors Medical Instruments Men's and Boys' Clothing Tires Household Appliances Matt Beverages Child Day Care Services Household Furniture Drug Stores Grocery Stores Iron and Steel Foundries Cookies and Crackers Mobile Homes Wine and Brandy Bakery Products Engines and Turbines Book Publishing Laboratory Equipment ある • では、企業パフォーマンスが相対的に高い産 業と低い産業では、何が異なるのであろうか。 • 成長率や産業の規模だけでは表すことがで きない要因が存在する。 Average industry ROIC in the U.S. 14.9% • それを体系的に説明し、それに対する打ち手を検討していったのが、SCPを原点とする経 Book Publishing Laboratory Equipment Oil and Gas Machinery Soft Drink Bottling Knitting Mills Hotels Catalog, Mail-Order Houses Airlines 営戦略の系譜である Source: Porter, M. E. 2008. The five competitive forces that shape strategy. Harvard Business Review, 86(1): 78-93. 4/18/18

SCPモデルは産業構造が結果的に企業レベルの収益性を決定するとする SCPモデルはBain/Masonの貢献によって発展した Industry Strategy Firm **Structure Conduct Performance** 競合の数 ・ 需給状況への反応 • 企業レベルのパ フォーマンス ・ 製品の均質性 ・ 製品の差別化 • 産業レベルのパ ・ 規模の経済 • 協調行動 e.g., 談合 フォーマンス • 市場支配力の行使 参入と退出のコスト • 社会的厚生* * 生産と資源消費の効率性、技術進化と経済発展への貢献、公正さ等 Source: Mason, E. S. 1939. PRICE AND PRODUCTION POLICIES OF LARGE-SCALE ENTERPRISE. American Economic Review, 29: 61. / Bain, J. S. 1956. Barriers to new competition: their character and consequences in manufacturing industries. Cambridge: Harvard University Press. 4/18/18

界構造の)分類の例			
	完全競争	独占的競争	寡占	独占
業界の 特徴	・多数の競合企業	・多数の競合企業	• 少数の競合企業	・ <u>1社独占</u>
	・低い参入退出コスト	・低い参入退出コスト	・高い参入退出コスト	・極めて高い参入=
	・均質的な商品	•差別化した商品	・均質または同質	・ <u>1社単独</u>
例	•株式市場	•歯磨き粉	1950年代の米国の 自動車、鉄鋼	インスタント写真でのポラロイド
	•原油市場	・シャンプー・米国国内航空	・シリアル(米国)	・OSのマイクロソフ
企業の 戦略	• 市場価格変動への 適応/反応	• 低価格戦略 • 差別化戦略	• 暗黙的談合 • ニッチ戦略	• 市場専有力を活用 した価格設定
業績の 朝待値	• 標準	•完全競争以上	•独占的競争以上	•寡占以上
社会的 厚生	•最大	・完全競争より低い	・独占的競争状態より低い	事占より低い







産業が説明できる企業利益率はわずか2割という分析が、注目を浴びた

SCP理論は正しいのか?-シュレマンジー(1985)とルメルト(1991)の分析

Table 4. Comparison with Schmalensee's results (percentage of total variance by source)

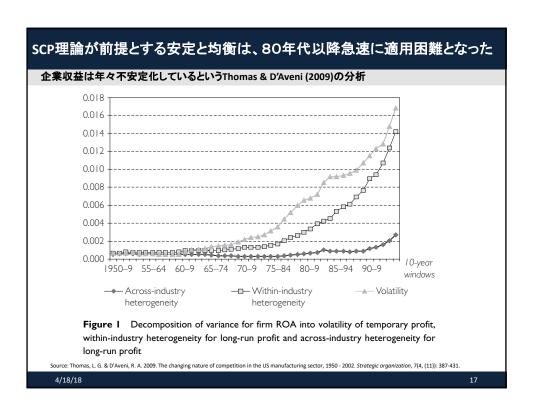
Source	This Study Sample A	Schmalensee (1985)
CORPORATE	0.80	x
Industry Industry-Year ALL INDUSTRY	8.28 7.84 16.12	x x 19.46
Share Share-Industry Covariance	x x	$0.63 \\ -0.62$
Business-Unit Business-Unit-Year ALL INTRA-INDUSTRY	46.38 36.70 83.08	x x 80.54
TOTAL	100.00	100.00

x, Component not estimated.

4/18/18

^{*} Sample A uses the same smpling criteria to Schmalensee (1985), and Sample B added 1070 small business unit that fails Schmalensee's size criterion to Sample A Source: Rumelt, R. P. 1991. HOW MUCH DOES INDUSTRY MATTER? Strategic Management Journal, 12(3): 167-85., p179 & Schmalensee, R. 1985. Do Markets Differ Much? American Economic Review, 75(3): 341.

全産業を用いたポーターらの分析は、産業要因は全体の約2割と示す マイケル・ポーターらによる産業効果と企業効果の検証 Table 3. Comparison of COV results (percent of total variance attributed to various effects) (1) (2) Rumelt model on McGahan Rumelt model on all McGahan and Porter McGahan Schmalensee^b Rumeltc manufacturing and (as reported) (as reported) and Porter data Porter^a No. of observations 1775 6932 18.298 58.132 58.132 Year (σ_{γ}^2) Industry (σ_{α}^2) 2.39 Corporate parent (σ_{β}^2) Segment specific (σ_{ϕ}^2) 19.59 8.32 0.80 7.20 2.05 17.32 6.96 18.68 N/A 31.71 N/A -5.51 N/A 29.57* -5.37 Business unit (σ_{Φ}^2) Corp.-par.-ind. N/A 46.37 N/A 33.79* N/A N/A covariance $(2C_{\alpha\beta})$ Market share -0.62N/A -1 42 0.62 N/A N/A N/A N/A Industry-year N/A 4.44 4.39 N/A MODEL 19.59 80.41 63.33 36.87 46.46 53.54 54.23 46.77 51.60 Error 48.40 TOTAL (σ_r^2) 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 Source: McGahan, A. M. & Porter, M. E. 1997. How Much Does Industry Matter, Really? Strategic Management Journal, 18: 15-30. 4/18/18



(外部環境-研究)SCPの発展

本日の内容 – Agenda for this session

- 1 復習:経営学の二面性と経営戦略の歴史的発展
- 2 SCP Structure-Conduct-Performance
- 3 まとめ summery and the key takeaway

4/18/18

(外部環境-研究)SCPの発展

まとめ

- SCPはもともとは経済学の概念から発生した考え方
- 外的環境を背景として、その環境要因が企業パフォーマンスを決めるとする
- ポーターの競争の戦略はその系譜の代表格。ファイブフォースと基本戦略は覚えるべき
- 外的要因は確かに企業パフォーマンスに一定程度の影響をあたえると理解されている
- しかし劇的に変化していく産業構造が一般化した現在では、その説明力が低下
- 一方、市場制度の議論が、新興国の成長によりまた着目を浴びている
- 非市場戦略を検討するとき、その土地の制度を理解することは不可欠

後半戦は、実務的なプロセスについて概観する

4/18/18

